

「道内の感染状況等（道案）」に対する主な意見

有識者・専門家の意見

- 1 感染者の7割が30代以下ということは、高齢者から始まったワクチン接種の効果があらわれているのではないかと懸念する。若者は、感染しても軽症、もしくは無症状なので、必要性を認識していないかもしれないが、子どもや高齢者に感染させることで医療体制のひっ迫を招く。今後の人の動きの活発化を考えると、ワクチン接種効果のアピールと感染対策の重要性を地道に訴えてほしい。
- 2 まん延防止等重点措置が終了し、社会経済活動の制限が緩和されたことも手伝って、感染防止行動への意識が薄れていると思う。改めて、道民、事業者、学校等に対して、「再拡大防止対策」に基づく取組を、様々なメディアを通じて、具体的に分かりやすいメッセージを発信するべきと考える。
- 3 病床使用率は下がっているが、新規感染者数が下げ止まっており、若い世代の割合の増加が気になる。引き続き慎重な対応が必要かと思われる。
- 4 道案に異論なし。新規感染者数の7割が30代以下であり、人の移動が活発になる時期でもあるので感染予防対策の周知をお願いしたい。また、高齢者への感染拡大防止対策も引き続きお願いしたい。